



## 新春セミナー開催



河島理事

平成27年1月27日(火)、ホテルグランドパレスにて、建設廃棄物協同組合の毎年の恒例行事となっている新春セミナー・懇親会が開催されました。当日は明け方まで降っていた雨もあがり、春のような陽気の中、セミナーには約45名、懇親会には約110名の方にお越し頂きました。冒頭では、島田理事長より、人材・作業員の確保・育成をテーマに改正労働安全衛生法や障がい者雇用制度変更に関する講演を行うと挨拶がありました。続いて総務部会 河島部会長より、昨年より組合で実施している「環境系大学卒業予定者のインターンシップを伴う求人」が平成27年度も行われること、その実施スケジュールの紹介がありました。

セミナーでは、「改正労働安全衛生法のポイント」と題し、東京労働局 労働基準部 健康課 渡邊課長より、ストレスチェック制度の創設(施行日:平成27年12月1日)と、受動喫煙防止対策の推進(施行日:平成27年6月1日)について、施行日を前に前準備として解説して頂きました。近年、精神障害の労災補償件数が急激に増加してきており、主な原因に勤務問題が多いことから、ストレスチェック制度が創設されたと説明がありました。受動喫煙防止対策については、助成金をうまく活用してほしいと勧められました。

特定社会保険労務士 望月由佳先生からは「障がい者雇用制度変更について」と題し、障がい者の雇用状況、企業規模別の実雇用率の推移などの現状の説明、制度の解説をして頂きました。また、実際に取り組んでいる会社の話も紹介されました。



東京労働局 渡邊様



社会保険労務士 望月様

## 新春セミナー懇親会



日建連 田邊様

セミナー後に行われた懇親会は、理事長の挨拶のあと、来賓として日建連建築副産物部会田邊副部会長にご挨拶いただき、笠井副部会長のご発声で乾杯し歓談が始まりました。



日建連 笠井様



ドリームトリオ



賛助会員・共同購買取引先皆様



浅尾副理事長

賛助会員・共同購買取引先様の個性あふれる商品紹介の後、ご招待の日建連の方々に自己紹介いただきました。続いて、ドリームトリオが登場し、3人の美しくパワフルな歌声で会場が最大限に盛り上がり、今年の新春セミナー・懇親会の幕が閉じました。

レポート 新和環境株式会社 桑野 尚美

## ベトナム建設廃棄物紀行 No.2

平成26年10月26日から30日、ベトナム・ハノイの建設廃棄物の実情を見る機会を得ました。概要報告2回目です。



天秤棒

### ＜ハノイの建設廃棄物＞

ハノイ市では建設活動が活発です。市街地ではあちこちで解体工事が行われ、再開発されるようです。新たな高速道路も建設されています。郊外では大規模なショッピングモールが建設されています。町のあちこちでクレーンが立ち並んでいます。

この結果、2,300～3,200トン／日の建設廃棄物が発生していると推定されています。しかし、把握されているのは1,300トン／日程度で、残りのものがどのように処理されているのかはわからないそうです。聞いた話では、発生したもののうち、金属類は回収されリサイクルされているのは日本と同様ですが、プラスチック類、木くずも回収されているそうです。プラスチックは市の郊外部にあるプラスチック村に持ち込まれ、洗浄したうえでペレット化され、大半は中国に輸出されているとのこと。

木くずは燃料として利用されているそうです。街中では女性が天秤棒でプラスチックを運んでいる姿を見かけます。日本で言う「もっぱら物」の古鉄回収と同じです。

最終的に処分されるものは、コンクリート、煉瓦くずとコンクリート等との混合物、残土がそれぞれ3分の1程度と推定されていますが、根拠は不明です。残土はどのように処分されているのか、利用されているのか把握されていないようですが、それ以外のものは基本的に埋立処分されています。



ハノイ市解体現場



ハノイ市建設廃棄物処分場で処分されているもの

次回は＜埋立処分場・汚泥処分場＞についてです。

建設廃棄物協同組合 理事長 島田啓三